

2017年6月6日

一般社団法人 GOLD 日本委員会
2017年度 第1回通常理事会議事録

開催日時：2017年6月6日(火) 18:00～19:00

開催場所：東京ガーデンパレス 会議室 3階「桂」

出席理事：一ノ瀬正和、今村 聡、植木 純、木田厚瑞、木村 弘、瀬山邦明、長瀬隆英、西村正治、
橋本 修、福地義之助、三嶋理晃（敬称略、五十音順）

出席監事：工藤翔二

事務局：本岡、西山、荻山

1. 開会宣言

長瀬代表理事より、定款第37条に規定する定足数(12名中7名以上)を満たす11名の理事の出席があり、理事会が成立することの報告があり、開会宣言がなされた。議長は、定款第36条の規定に基づき長瀬代表理事が務めることとなった。

2. 議案審議

第1号議案：2016年度事業報告承認・決算承認・監査報告

1. 2016年度の事業報告書および決算報告書について事務局より説明が行われ、承認された。

資料：事業報告書、事業報告の附属明細書、決算報告書

2. 工藤監事より、業務および経費内容が妥当であるとの監査結果が報告された。

資料：監査報告書

第2号議案：新しい賛助会員の設定について

長瀬代表理事より第2号議案について説明があり、原案をもとに以下の議論がなされ、合意がなされた。

- ・一ノ瀬理事より、賛助会員の上位区分の設置については、会員獲得が難しいと思われるため、呼吸器財団などの団体に協力を仰ぐのが良いのではないかと意見があった。
- ・三嶋理事より、GOLD 日本委員会の事業は大変重要なため呼吸器財団としても財政が整ったらサポートしていきたいと思う。また、先に報告があった3-3.各自治体のCOPD 啓発取り組みの調査・検証の事業でアンケート回答率が20%というのは、問題があるため、(自治体健康政策担当者の)意識を高めるためにも全国の自治体へ遠隔教育などを行うシステムを考えてはどうかと意見があった。
- ・西村理事より、健康日本21(第二次)の推進専門委員会が開催され、COPDの認知率の目標について今後の方向性についての議論がなされた旨の報告があった。
- ・今村理事より、COPDの認知率の目標は、国だけでなく都道府県にも同様に課せられているが、県のレベルで目標に入れず、認識がないところがある。そのため、医師会から県医師会に対して県に働きかけて、県の目標に入れるように依頼している。健康日本21(第二次)の推進専門委員会の議論の中でも厚生労働省が県に対してちゃんというべきだという意見があった。
- ・工藤監事より、都道府県の健康増進計画にCOPDの認知率について書かれていないのは、そこまで手が

